



診療科の体制と内容

私たちは日本神経学会認定神経内科専門医26名であらゆる神経疾患に対応できる体制をとっており、県内外の広い地域から難治性疾患や診断困難な症例を受け入れています。初診外来は神経学的な評価に十分な時間を確保するため、完全予約制とさせていただいております。緊急性のある症例に関しては個別対応をいたしますので、下記までご連絡ください。脳神経内科が対象とする疾患は、パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症などに代表される神経難病から、超

高齢社会となり増加している脳卒中・認知症・てんかんといったcommon diseaseまで幅広く、脳・脊髄から末梢神経・筋の病気まで、いわば全身を守備範囲としています。スタッフの専門性を活かして世界水準の診療体制の構築を目指し、安全な高度医療を提供いたします。症状としては、筋力低下、振戦、複視、眼瞼下垂、構音障害、感覚の異常、ふらつき、意識消失、高次脳機能障害、けいれん、頭痛などでお困りの際にはご相談ください。



千原 典夫 (ちはら のりお)

役	職	診療科長/教授
---	---	---------

専門領域 (専門分野)	脳神経内科一般、神経免疫疾患
----------------	----------------

専門医など資格	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本神経学会神経内科専門医・指導医 日本臨床免疫学会免疫療法認定医 日本神経免疫学会神経免疫診療認定医
---------	--



専門外来

どの外来も脳神経内科全般の診療に対応します。以下の専門分野の診療も行っています。

- てんかん外来 …………… 尾谷、的場(健)
- メモリー外来 …………… 古和、関口、関、的場(健)、森本
- 神経免疫疾患外来 …………… 千原、古東

TOPICS

私どもは、学会などで効果が確認された最新の治療法に積極的に取り組んでいます。

- 長時間ビデオ脳波モニタリングによるてんかんの診断・てんかん外科の術前評価
- アルツハイマー病による軽度認知障害または軽度の認知症に対する疾患修飾療法(レカネマブ、ドナネマブ)
- パーキンソン病に対するレボドパ・カルビドパゲル持続経腸投与療法、ホスレボドパ・ホスカルビドパ水和物持続皮下注療法
- 脊髄性筋萎縮症(SMA)に対するアンチセンス核酸医薬(ヌシネルセン)随注療法
- 筋萎縮性側索硬化症(ALS)に対する疾患修飾療法(エダラボン、ロゼバラミン、クアルソディなど)
- 免疫介在性ニューロパチーの進行抑制を目的とした免疫グロブリン製剤の慢性静注療法、皮下注療法
- 多発性硬化症(MS)や視神経脊髄炎(NMO)に対する疾患修飾療法(ナタリズマブ、オファツムマブ、サトラリズマブなど)
- 重症筋無力症(MG)の難治例に対する疾患修飾療法(エクリズマブ、エフガルチギモドなど)
- 視神経脊髄炎・重症筋無力症などの免疫性神経疾患に対する血液浄化療法 など

地域医療機関の先生方へ



- 認知症(軽症例)、多発性硬化症、自己免疫性辺縁系脳炎を対象にした治験の被検者を募集しています。
- てんかんの的確な診断・治療や難治症例の術前評価を積極的に行っていますので、若年・高齢発症問わずご紹介ください。
- これら患者さんのご紹介は、患者支援センター地域連携部門宛てにFAX用紙のメモリー外来(脳神経内科)やてんかん外来、神経免疫疾患外来にチェックをしてご依頼ください。

連絡先

担当医	尾谷 真弓
TEL	078-382-5885(医局) 078-382-5264(予約専用)
受付時間	8:30~17:00

※脳神経内科の初診外来は完全予約制です。恐れ入りますが、紹介状をご用意いただき、FAX予約をお願いいたします。ただし緊急性がある場合はこの限りではありませんので、お電話で別途ご連絡ください。